

公安委員会会議録

開催日時	令和6年5月8日(水)	自 午後 0時45分 至 午後 2時44分
開催場所	山口県警察本部公安委員会室、同公安委員室	
出席者	公安委員	弘永委員長 大田委員 今村委員

第1 審議概要

本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長及び首席監察官同席の上、下記の報告を受けた。

1 下関警察署安岡交番開所式の開催結果

地域部長から、

令和6年4月25日(木)午前10時から、下関警察署安岡交番開所式を安岡公民館において開催し、その後、安岡交番の内覧会を行った。

(1) 出席者

下関警察署長以下9名と来賓21名で、来賓は、山口県公安委員長、下関市長、地元選出の県議会議員等である。

(2) 施設特徴等

建替前の安岡交番は昭和53年の建築から45年経過し、老朽化しており、新交番は現地建替で、県下初のコンパクト交番として本年4月1日に運用を開始している。

安岡交番は、勤務員6名に加え交番相談員1名が勤務しており、勤務員は2名ずつ3交替の勤務を行っている。

交番の特徴として、コンパクト化により前年度新設の交番に比べ延べ床面積が約半分となっている。建築費を大幅に減少しながらも、来訪者が利用しやすいよう、身体障害者用駐車場を含む駐車場や、多目的トイレ、個室タイプの相談室を備え付けている。

旨の説明があった。

大田委員から、「交番は、地元の方の生活に密着している。交番としての機能を生かしてほしい。常時2名が3交替で勤務とあったが、他の交番も同様であるのか。」旨の発言があり、本部長から、「基本的に2名以上の3交替となっており、勤務員が複数名となることが望ましい。」旨の説明があった。

今村委員から、「相談室が個室タイプとのことであるが、個室タイプは珍しいのか。個室タイプならではの危険性もあろうかと思うが、どのように対応しているか。」

また、現在、交番はいくつあるのか。」旨の発言があり、地域部長から、「昔の交番には個室タイプがなかったが、相談しやすい環境を目指して個室タイプを整備している。個室ならではの危険性について、個室の中に監視カメラはないが、相談室は事務室に隣

接しているのです、何かあれば事務所の勤務員が対応できる。交番は67か所となる。」旨の説明があった。

弘永委員長から、「開所式に初めて参加させてもらったが、非常によかった。コンパクト交番と聞いたが、常時勤務が2～3名であれば十分の広さであり、上質な造りだと感じた。自身も安岡交番の前を通過するが、目につきやすい位置であり、市民にとって良いピーアールになると思う。」旨の発言があった。

## 2 「山口県交通安全フォトコンテスト2024」の開催

交通部長から、

県民に交通安全について考えていただくきっかけづくりとして、交通安全や交通事故防止に関するフォトコンテストを開催する。令和4年以降、3回目の開催となる。

### (1) 主催等

主催は山口県警察、共催は山口県交通安全協会、後援は山口県安全運転管理者協議会、山口県トラック協会、山口県である。

### (2) 募集期間等

募集期間は5月13日から7月31日までの間で、8月中に審査会を実施した後、9月下旬に表彰式を開催する予定である。

### (3) 作品のテーマ

交通安全や交通事故防止に関するものであれば自由だが、交通事故現場や事故車両などの悲惨な写真は対象外とした。

### (4) 実施概要

- ・ 応募資格は県内に居住又は通勤・通学する方で、年齢・性別・国籍は問わない。
- ・ 応募方法は、1人3点以内、郵送又は県警ホームページ内にある電子申請サービスによる。
- ・ 公安委員、本部長、各部長、関係機関・団体の方に審査を依頼する予定としており、10点を入賞作品として表彰する。
- ・ 入賞作品は、ポスターやチラシ等の各種交通安全広報・啓発素材として活用する予定である。

### (5) SNSの利用

応募作品を順次X（旧ツイッター）に掲載していくことで、実施期間中のピーアールになり、新たな応募のきっかけになると考えている。

### (6) 今後の取組

報道機関や教育機関等への情報提供及び、各種広報媒体の活用による募集勧奨を実施する予定である。

旨の説明があった。

大田委員から、「昨年度の入賞作品の中にも被写体が特定可能な写真がある。プライバシー保護について、遺漏のないようお願いしたい。」旨の発言があり、交通部長から、「提出時にチェック項目を設けて、掲載に問題がないかチェックしていただくよう、対策をしている。」旨の説明があった。

今村委員から、「SNSを利用した広報について、応募期間内に来たものを掲示することで、他の投稿の呼び水となる効果や、入賞作品以外であっても自身の作品が公開されるなど、よいアイデアだと思う。」旨の発言があった。

弘永委員長から、「書道などの展示は、すべての出展作品を掲載している。応募数を増やせるように、例えば大規模商業施設などの協力をいただいて、県内数か所で応募作品を展示するなどすればよいかもしれない。」旨の発言があり、交通部長から、「警察署

で開催することは可能と考える。」旨の説明があった。

### 3 ゴールデンウィーク期間中における雑踏警備の実施状況

警備部長から、

ゴールデンウィーク期間中に開催された大規模行事については、全体的に主催者側の理解もあり、渋滞や事故トラブルなく推移した。参加者が多かった3つの行事における警備状況について報告する。

#### (1) 岩国警察署、日米親善デー

川下地区には、署長権限により、地元住民以外の私有車の乗り入れを禁止し、岩国市が岩国駅から基地までのシャトルバスの運行本数を増やして対応し、渋滞等は緩和できた。

また、入場門を基地の内側に設置することで、基地入り口の歩道に滞留しないよう対応した。

#### (2) 下松警察署、道路を走る鉄道車両見学プロジェクト

主催の市役所の対応で、JRが臨時便を増やしてくれたおかげもあり、私有車の乗り入れなどが少なく、混雑は回避された。滞留はあったが、トラブルやけが人もなかった。

#### (3) 下関警察署、しものせき海峡まつり

赤間神宮に入る道中がメインとなり、多人数が滞留することで危険が発生する可能性もあったが、主催者の対応により、入場人数を制限することで将棋倒し等の危険を回避することができた。

#### (4) 今後の課題

今後は、新型コロナウイルス感染症により、若手警察官が3年間大規模イベントの警備に携わっていなかった部分があるので、経験を積ませていきたい。

旨の説明があった。

大田委員から、「大規模イベントで参加人数が多くなると、いかに警察が人流のコントロールをしていくかが焦点になると思うが、安全を期してほしい。過去には雑踏事故も起きている。楽しい思い出や主催者等の努力が水泡に帰すことがないようお願いする。」旨の発言があった。

今村委員から、「イベント終了後の人流コントロールについて、木登りよりも降りる時を慎重に行う必要がある。人が集まる場所には人手がいるというのは、そのとおりだと思う。」旨の発言があった。

弘永委員長から、「主催者と連携するのは大切である。参加者全員が楽しめるよう、よろしく願います。」旨の発言があった。

## 第2 決裁・報告

課長等から下記のとおり説明を受け、決裁を行うなどした。

### 1 決裁概要

#### (1) 運転免許の行政処分

運転管理課長から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞への出席者3人からの聴取結果について報告を受けるとともに、処分理由等の説明を受けた後、審査の上で処分を決定した。欠席者7人については、運転管理課長から処分理由等の説明を受けた後、審査の上で処分を決定し、他2人については、再呼出しとした。

(2) 審査請求の受理

運転管理課長から、1月31日付けで公安委員会が行った処分について審査請求を受理した旨の説明を受け、決裁した。

(3) 次回開催する意見の聴取・聴聞の主宰者指名

運転管理課長から、令和6年5月22日に開催する意見の聴取・聴聞における主宰者の指名について説明を受け、決裁した。

(4) 審査請求の審理

刑事企画課長から、令和4年6月29日に受理の報告を受けた審査請求について、審理経過の説明を受け、裁決書を決裁した。

2 報告概要

(1) 山口県公安委員会事務の専決状況

組織犯罪対策課長から、1月～3月中の組織犯罪対策課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、それぞれ報告を受けた。

(2) 警備課関係業務説明

警備課長から、警備課関係業務について報告を受けた。

第3 協議

今後の公安委員会における運営について協議した。